



平成29年度 大豆 栽培管理情報 8月号

病害虫対策で安定多収！

今年は播種時期の天候に恵まれ、概ね適期に播種が行われました。7月下旬の乾燥により出芽から初期生育が劣ったところもありますが、8月に入ってから降雨で生育は好転している様子です。これからの病害虫対策が収量・品質を左右するので、適期防除を心がけましょう。

ハスモンヨトウは、白変葉が目立ち始めたら即防除！

高温少雨年に多発する害虫で、既に発生している圃場もあります。今年は特に注意しましょう。発生のサインは「白変葉」です。放置すると大豆の葉だけでなく莢・子実にも大きな被害をもたらすので白変葉が目立ち始めたら早急に防除するとともに、圃場を巡回し、その後の発生にも注意が必要です。

白変葉



・使用薬剤(例)

| ハスモンヨトウ剤 | 10a当たり散布量 |
|------------|-----------------|
| プレバソフロアブル5 | 4,000倍 100～300L |
| ノーモルト乳剤 | 2,000倍 100～300L |
| トルネードフロアブル | 2,000倍 100～300L |

紫斑病・カメムシ対策は開花期以降の同時防除を！

紫斑病は品質の低下、カメムシは品質と収量の低下をもたらす重要な病害虫です！収量が多くても、これらの被害粒が多いと検査等級が落ちてしまいます。確実に防除するためには、2回の適期防除が必要です。必ず防除しましょう！

カメムシ吸汁による板莢



紫斑病被害粒



・防除時期

- 1回目：開花期二週間後9月2半旬頃
多数の莢が5～15mmくらいになった頃
- 2回目：1回目防除の10日後

・使用薬剤(例)

| 紫斑病剤 | 10a当たり散布量 | カメムシ類剤 | 10a当たり散布量 |
|--------------|------------------------|-----------|-----------------|
| マネージDF | 3,000倍 100～300L | キラップフロアブル | 2,000倍 100～300L |
| ベルコート水和剤 | 1,000倍 150～300L | スタークル液剤10 | 1,000倍 100～300L |
| アミスター20フロアブル | 2,000倍～3,000倍 100～300L | スミチオン乳剤 | 1,000倍 100～300L |

～乾燥害対策で収量向上～

開花期以降の水不足は、莢数確保や粒の肥大に悪影響を及ぼします。もし可能ならば、「うね間かん水」を試してみませんか？

【実施の判断】

①晴天が一週間程度続き土が白く乾燥したり、②日中に大豆の葉が立ち、半分以上の葉で裏面が見えるようになった時期

【実施の方法】

朝夕の涼しい時間帯(高温時は根痛みする)に行い、圃場全体に水が行き渡ったら速やかに排水(湿害防止のため)します。

★一度かん水を始めたら、干ばつが終わるまで続けます。



かん水区は、莢も多く、太りも良い。